

顧城・雷米作『英児』研究資料

藤重典子

①

“But I don't want to go among mad people ” Alice remarked.

“Oh you can't help that ” said the Cat: “we're all mad here. I'm mad.You're mad.”

“How do you know I'm mad?” said Alice.

“You must be,” said the Cat, “or you wouldn't have come here.”

★ ALICE in Wonderland', LEWIS CARROLL, YOHAN, P.62

②

●ところで、これらの天才的人物のうち、最後の三人がわずかに健康なのをのぞけば、四〇％にあたる十四人に精神病が見られ、全体の九〇％以上に多少とも精神病質がみとめられるという。精神病者の割合は一般にはほぼ一・五％、精神病質者の割合は十ないし十二％であるから、右の割合がどんなに高いかがわかる。

●われわれが注目したいのは、その時代が、神を中心にして組織された非人間的世界の秩序がゆるみ、やがて人間中心の時代へと移行する歴史の転換期にあっていたことである。つまり、当時にあっては人々は、社会的秩序の内側にとどまってその規範にしたがって生きるのでは、自分自身の人間的実をゆたかに展開していくことはできなかった。みずからの同一性をたもちながら自己を実現するためには、したがって、彼らは日常の世界から一步踏み出て、別種の現実をめざさなければならなかったわけで、しかしそれが「正常な」社会の内側からみれば、悪魔と手をむすんだ「異常者」としか映らなかったのである。

★『精神分裂病の世界』宮本忠雄 紀伊國屋書店 77年

③

ロナルド・デイヴィッド・レインは英国の精神科医で、一九二七年十月七日、グラスゴーに生まれる。一九八九年八月二十三日フランスのサントロベで死亡。

最初の著書『ひき裂かれた自己』(The Divided Self, 1960. 邦訳、みすず書房)で精神医療の世界を二分するような衝撃を与えた。この本の中で彼は、精神分裂病は家族や精神医学的治療のもたらす耐え難い圧迫に対する患者自身の合理的な防衛反応ではないかと理論づけた。

★『愛のレッスン』ロバータ・ラッセル＋R. D. レイン 新曜社 94年

④

「あなたが いっぼんの木であればいい
そうすれば つかまって泣くことも出来るのに！」
苦しまぎれに呼びかけると
じきそばで
あのひとの声がした
「あなたが いっぼんの木であればいい
そうすれば 伐り倒すことも出来るのに！」

★「鬼ごっこ」『新川和江詩集』 思潮社 75年

⑤

くきのう城内で曹公子が演説しておったが、相変わらず「氣」がどうの「死」がどうのだ。おまえから言ってやれ、玄虚をもてあそぶな、とな。命を棄てることは悪くない。むつかしくもある。ただ、人民に有益な死に方でないとな>

★「戦争をやめさせる話」『故事新編』魯迅 岩波文庫 79年

⑥

●ソフィー 生きるのに二通りあるのですわ。あなたにとっては生きるというのは同時にまた愛することでもあるのですね。

●ジェローム わしはあの令状執行に反対し、血の専政に反対することを明言する。

カルノー いや君はそれをしないでらう。君はそれをする権利がないし — それに可能性(ちから)もない。

★『愛と死との戯れ』ロマン・ロラン 岩波文庫 昭和二年

⑦

「七月はお化け月とく原文、鬼月>とってな、この月に身ごもった子はお化けの生まれ変わり、八字く生まれた年月日時を干支でそれぞれ二字、計八字で表わし、これで運勢を判断する>は相克し、生涯良い目を味わえぬのじゃ。こんな不吉な子はおらぬが幸いというのに、お前は何もわからずよりによってまでこんな月にまで……」

★『夫殺し』李昂 宝島社 93年

⑧

英語の辞書には 'as mad as March hare' ということばがあるが、新しく 'as mad as May & June Chinese' を載せたい。

★「思いつき」藤重典子

其間生子桑木耳。

★『詩人顧城之死』上海人民出版社

⑨

サモア諸島 [Samoa] 南太平洋の日付変更線付近に分布する島々。西部はサモア共和国、東部はアメリカ領サモア。

★『大辞林』三省堂

⑩

始めにも引いた、漢代、紀元前二世紀の書物『淮南子』「本經訓」の全文は、次のようになっている。

そのむかし、蒼頡が書を作った。すると、天は粟（穀物）を降らせ、鬼は夜に泣いた（天雨粟、鬼夜哭）。

蒼頡が文字を発明した後の事件が、ここには記されている。なにやら異常な現

象が生じたらしいが、これだけでは、よくわからない。漢字を作ったことに感動した天が、祝福の意味で、粟を降らせたのだろうか。鬼には、妖怪、魂、靈魂などの意味が考えられる。人間が文明の利器を持ち、やがてみずからが駆逐されることを予感して、かれらは夜泣きしたというのだろうか。

★『蒼顔たちの宴』武田雅哉 筑摩書房 94年

⑪

理性を突破する理性は狂気と見なされる。「理性の時代」に有罪宣告を受けた理性の人、—それが文学者としてのサドである。このあたりの事情は、彼が殺人の弁護をしながら、しかも死刑に対する断乎たる反対の立場を表明したというようなことから、あるいは容易に推測されるかもしれない。

★『悪魔のいる文学史』澁澤龍彦 中公文庫 昭和57年

⑫

私が狂おしく抱きしめたのは彼女ではなくて、私自身の創作した、もう一人の架空のロリータ — いや、おそらく彼女よりもはるかに現実的なロリータだったのだ。それは、彼女と重なりあい、彼女をつつむもの — 私と彼女のあいだに浮かんで、意志も意識もなく、自分の生命すらもたないものなのだ。

★『ロリータ』ナボコフ 新潮文庫 昭和55年

⑬

●「絶望です！ もう息をしてるというだけです……それに頭がひどくやられています……ふむ、あるいは、放血したらよいかもしれん……が……まあむだでしょう。もうもっても五分か十分です」

●それはつまり、人間は自然の法則によって二つの層に大別されるということです。つまり低い層（凡人）と、これは自分と同じような子供を生むことだけをしごとに行っているいわば材料であり、それから本来の人間、つまり自分の環境の中で新しい言葉を発言する天分か才能を持っている人々です。

●「リザヴェータの。あのひとは斧で殺されたのよ」

★『罪と罰』ドストエフスキー 新潮文庫 昭和62年

⑭

右の如き、窮厄におりながら、いわゆる喉元過ぎて、熱さを忘るるの慣い、憂たてや血気の壮士は言うも更なり、重井、葉石、新井、稲垣の諸氏までも、この艱難を余所にして金が調えりといいては青楼に登り口（女十玄）妓を擁しぬ。かかる時には、妾はいつも一人ぼっちにて、宿屋の一室に端座し、過去を思い、現在を慮りて、深き憂いに沈み、婦女の身の最とど果敢なきを感じて、つまらぬ愚痴に同志を恨むの念も起こりたりしが、復た思いかえして、妾は彼らのために身を尽さんとには非ず、国のため、同胞のためなれば、などか中途にして挫折すべき、アア富井女史だにあらばなどと、またしても遺る瀬なき思いに悶えて、ある時詠み出でし腰折一首

かくまでに濁るもうしや飛鳥川

そも源をただせ汲む人

★『妾の半生涯』福田英子 岩波文庫 58年
わらわ

⑮

「資料を並べただけだ」という批判もあるだろうから、「目には目を、歯には歯を」に続けて、「詩には詩を、愛には愛を」と述べよう。顧城は自分しか愛していないから、彼には「愛」はやらない。「下手な詩には下手な詩を」である。

上篇

真夜中の女鬼は スタスタと歩く
転んだって平気 人間になりたい

下篇

見たいならば 見に来れば？
沢山見たくせに わかってないだけよ
女は全部同じだってことが

顧城は自分の心は「女孩子」のものだ、と言っているが、それは違う。成熟を拒絶する少女は拒食症にかかって一人で死にたがる。つまり、彼は実は「ハーレム」が欲しかった中年のオジサンであった。

顧城へ

顧城 なぜ泣くの

顧城は島に

可愛いひとりの 子がいるからよ

可愛い、可愛いと 顧城は泣くの

可愛い、可愛いと 泣くんだよ

島の古巣へ 行ってみてごらん

丸い眼をした いい子だよ

北京晚報 1994年7月6日



文坛点滴

《诗探索》复刊

由中国当代文学研究会、北京大学中国新诗研究中心和首都师范大学研究室主办，谢冕、杨匡汉、吴思敬主编的全国惟一诗歌理论刊物《诗探索》最近由首都师范大学出版社复刊。该刊创刊于1980年，至1985年因经费不足停刊，共出版12期，在海内外有较大影响。这次复刊的《诗探索》集合了一批在国内诗歌理论研究领域较有权威的作者，开辟有诗坛态势剖析、诗学和诗人研究以及古代、当代、外国诗论等栏目。著名老诗人艾青为第一期《诗探索》写了卷首语。
